

## 教育委員会12月報告

令和4年12月28日

### 二十歳のつどい実行委員と語る会 開催

令和4年12月4日(日)、役場4階防災多目的室にて「二十歳のつどい実行委員と語る会」を開催した。この会は、毎年12月に行っており、若者の意見を聞く場として、役場の各課の協力のもと事前に提案いただいたテーマを基に進められ、二十歳のつどい実行委員4名と町長はじめ町議会議長、教育長がこれからの木曾岬町のまちづくりについて意見交換を行った。

町長からの「町のイベント等を若い人達に知ってもらうために良い方法は何かないか」との問いに対し、実行委員からは『若い世代が日常生活の中で目に付くよう、自主運行バスの中にチラシを貼るとか、電車の中刷りや近鉄弥富駅に広告を掲示するなど、通勤通学で直接目に触れるような工夫』や、『興味を引くような内容をTwitterやInstagramなどで積極的に情報発信してはどうか』との提案が出された。この他にも、「わいわい市場への参画について」、「防災(防災訓練への参加など)について」、「都市公園(ブルービーパーク木曾川)の利活用促進について」などについても貴重なご意見をいただき、内容の濃い意見交換の場となった。



### こども園クリスマス会 開催

令和4年12月9日(金)、こども園の遊戯室にてクリスマス会を開催した。今年度も、新型コロナウイルス感染症防止の観点から参観は各家庭2名までとし、学年ごとに入れ替えるなど感染対策を講じて実施した。

子どもたちは、この日のために一生懸命練習を行い、当日は笑顔いっぱい踊ったり歌ったりしながら練習の成果を発表することができた。各クラスにやってきたサンタクロースの姿を見て、驚きのあまり泣き出す子どももいましたが、プレゼントを受け取ると笑みがあふれ、教室は和やかな雰囲気に包まれた。コロナ禍において工夫しながら行ったクリスマス会の取り組みは、子どもたちを大きく成長させるものとなった。



## 木曾岬町人教 人権啓発講演会及び人権作文発表会 開催

令和4年12月11日(日)、木曾岬町民ホールにおいて、人権ポスター・人権作文の発表及び表彰、中学生による『子ども支援ネットワーク・アクション事業』の活動報告、僧侶でシンガーソングライターの やなせなな さんを講師に招いた講演会を開催した。

講演会に先立って、人権ポスターと人権作文の表彰があり、入選した中学生による作文発表が行われた。また、人権啓発の一環として、12月22日(木)まで町立図書館や役場1階にて、こども園・小学校・中学校で取り組んだ人権ポスターの入選作品及び人権フォトの応募作品の展示を行った。

また、今年度木曾岬中学校を中心として実施している『子ども支援ネットワーク・アクション事業』について、木曾岬中学校3年生の生徒たちが、小・中学校が連携して取り組んだピンクシャツ運動について、自分たちでデザインした缶バッジ等を作成したことやそれらを使っていじめ防止活動を展開したことの報告を行い、一人ひとりの人権を大切にす町にしていきたいという思いを参加者の皆さんへ呼びかけた。



## 令和4年度文化イベント「砂音無常のサンドアート」開催

令和4年12月18日(日)、町民ホールにおいて「砂音無常のサンドアート～砂とバイオリンで奏でる物語～」を開催した。教育委員会では、町民の皆様に文化・芸術に触れていただく機会として、毎年様々な文化イベントを実施しており、今年度は世代を超えて楽しめるサンドアートにバイオリンの音楽を融合した内容とした。当日はコロナ対策として、観覧者には検温や手指消毒のほか、体調チェック表の提出も求めるなど感染予防に万全を期して開催し、バイオリンが奏でる優しい音色にあわせて次々と砂のキャンバスに描き出される「ピノキオ」や「竹取物語」などのシーンが完成するたびに会場からは拍手が沸き起こっていた。

教育委員会では、来年度以降も町民の皆様に楽しんでもらえるよう趣向を変えたイベントを企画していく予定である。



## 第16回美し国三重市町対抗駅伝木曾岬町実行委員会へ激励品の贈呈

令和4年12月23日(金)に役場町長室にて、JA三重北の松井美利常務より美し国三重市町対抗駅伝木曾岬町実行委員会の山崎信委員長に、お茶とスポーツドリンクが贈呈された。山崎委員長からは、「チーム一丸となって全力で頑張ります!」と力強く決意が表明された。



## こども園、小・中学校 2学期終業式 挙行

令和4年12月23日(金)にこども園、小・中学校が2学期の終業式を挙行了。式の中では、新型コロナウイルス感染症にかからないために注意することや、事故や事件に巻き込まれないように気を付けること等、冬休みの過ごし方について話がされた。そして、命の大切さについての話があらためてなされ、子どもたちは真剣な表情で話を聞いていた。また、小中学校では冬休みにタブレット端末の持ち帰り学習を行うので、ドリル学習アプリを有効に使い、自分が苦手な所を少しでも克服できるよう頑張ろうと呼びかけられた。

こども園、小・中学校は12月24日(土)から1月9日(祝・月)まで冬季休業期間に入る。